



ゆりの木保育園前のヒカンザクラに
さくらんぼがなっています

ゆり北

第269号 (25期 第2号)

光が丘ゆりの木北自治会

東京都板橋区赤塚新町

3-32-11-511

発行責任者 塩 原 継 雄

2007年度ゆりの木北自治会役員名簿

役 職	氏 名	住 所	担当専門部	担当号棟
会 長	塩原 継雄	11-511		
副 会 長	辛島由美子	6-307	防犯防災	6 号棟
	岡原 勝子	11-513	生活環境	11 号棟
	本部 六朗	14-203	住宅対策	14 号棟
事務局長	安倍 敏陽	8-501	防犯防災	
会 計	最相 和子	4-1007		4 号棟
幹 事	石橋 和代	1-212	住宅対策	
	田中 奨	1-603	文 化	1 号棟
	大杉 浩二	2-208	広 報	2 号棟
	吉田 裕子	4-908	文 化	
	百澤 卓也	5-802	防犯防災	
	小野寺英樹	5-904	防犯防災	5 号棟
	瀧澤 悦子	6-201	広 報	
	藤崎 道郎	7-104	生活環境	7 号棟
	高木 晴子	8-103	福 祉	8 号棟
	川島 昇三	9-201	生活環境	9 号棟
	藤田 次郎	10-808	福 祉	
	塩沢美津恵	10-710	福 祉	
	上島 貞夫	10-1002	文 化	10 号棟
	澤田 智子	12-502	文 化	12 号棟
	梨本 幸男	13-603	住宅対策	13 号棟
会計監査	今泉 純一	3-103		3 号棟
	片山 幹生	14-511		



「安心」「安全」「快適」なまちづくりを目指して 第二十五期定期総会終わる



四月十五日(日)、赤塚新町小学校体育館において第二十五期ゆりの木北自治会定期総会を開催しました。午前十時開会、塩原継雄自治会会長の挨拶に続いて、来賓の東京二十三区公団住宅自治会協議会会長林守一様、赤塚新町小学校校長塩谷通男先生からご挨拶をいただきました。議長に百澤卓也さん(五号棟)、藤田次郎さん(十号棟)を選出し、議事に入りました。総会は、出席者五七世帯(六〇名)、委任状二六〇通計三一七で、自治会会則第十二条に則り成立しました(定足数は、四月十五日現在の会員数五三二の半数、二六六です)。まず二〇〇六年度活動報告、自治

会決算報告、住民防災組織決算報告、会計監査報告が行われ、承認されました。次に、二〇〇七年度活動方針(案)、自治会予算(案)、住民防災組織予算(案)が提案され、いずれも原案どおり可決されました。最後に、役員選考委員会から役員候補者名簿が提出され、承認されました(別表参照)。新役員自己紹介、退任役員挨拶の後、同じ会場で懇親会を行いました。今年の総会は一般会員からの発言がありませんでしたが、懇親会では活発な意見交換が行われていました。なお、委任状に記入されたご意見、ご要望も、今後の活動の参考にさせていただきます。

自治会からのお知らせ

春のゆり北クリーン作戦

日時 六月三日(日) 午前十時から
主催 ゆりの木北自治会
ゆりの木通り北住宅管理組合
ゆりの木会
クリーンボランティア

「春の板橋クリーン作戦」の一環として、団地内の通路、植え込み、ゆりの木通り、けやき通りの清掃を行います。終了後、飲み物等を配布する予定です。清掃を通じて、住民同士の交流の機会にしていきたいと思っています。皆様のご協力をお願いいたします。詳しくはポスターをご覧ください。(生活環境部)

団地内防災設備見学会

日時 六月三十日(日) (予定)
内容 防災倉庫の備品確認
十、十一号棟の設備見学ほか

集合時間・場所等は、ポスターでお知らせします。どなたでも、お気軽にご参加ください。(防犯防災部・住民防災組織)

自治会費 納入のお願い

七月二日(月)に、二〇〇七年度の自治会費一年分三千六百円を、東京スター銀行および旧UFJ銀行の預金口座から引き落とします。銀行口座振替で自治会費を納入される方は、預金残高の確認をお願いいたします。なお、集金は七月に行います。(事務局)

今年度の主な行事

いずれも、詳細は会報「ゆり北」およびポスター、チラシ等でお知らせします。

自治会相談窓口

七月八日(日)
団地生活に関する相談、自治会費払い込み、自治会加入手続き受付

八ヶ岳キャンプ(青健)

八月十日(金)～十二日(日)
対象 小・中学生

ゆりの木夏まつり

八月二十五日(土)
二十六日(日)

下赤塚地区防災訓練

八月二十六日(日)

長寿を祝う集い

九月十七日(月・敬老の日)
対象 六十五歳以上の方

子どもいもほり大会(青健)

十月十三日(土)
対象 幼児・小学生のいる世帯

ゆり北防災訓練

十月二十一日(日)

小野上日帰りバス旅行

十一月十一日(日) (予定)

ゆり北文化展

十一月二十四日(土)
二十五日(日)

年末大掃除

(年末板橋クリーン作戦)
十二月九日(日) (予定)

地域とともに二十四年

赤塚新町小学校の今



四月六日（金）、赤塚新町小学校では三十九名の新一年生を迎えて入学式が行われました。今年は平年より八日早く三月二十日に桜の開花宣言が出され、入学式は葉桜かと心配しましたが、その後の寒さで開花は足踏み、正門両脇の桜も入学式のころ見事に満開となりました。開校当初、ここにはもみじが植えられていましたが、「桜の下で新入生を迎えたい」という初代校長日高由布雄先生の要望を受けて、管理組合理事会が植え替えを認め、現在の形となったものです（経費は区が負担しました）。

赤塚新町小は東側と北側がゆり北団地に隣接していることもあってゆり北とは「切っても切れぬ仲」、さまざまに協力し合い、交流してきました。昨年三月に発足した「子ども見守り隊」には十五名が登録、登下校時に団地内のそこここに立って、子どもたちとあいさつをかわしています。

また、板橋区は「地域に開かれた学校づくり」を推進しており、区立小中学校では昔の「授業参観」に代わって「学校公開日」を設けています。赤塚新町小は四月の公開の後、六月三十日（土）、七月四日（水）、十月十八日（木）、十月十九日（金）にも学校を公開します。この日は「いつでも、どこでも、どなたでも」自由に参観することができま。赤塚新町小の教育に関心がある方はのぞいてみてはいかがでしょう。

笑顔とあいさつで

子ども見守り隊 石原詩子

三月二十八日（水）、「子ども見守り隊」の講習会が区立グリーンホールで行われました。警察署の方から

「板橋区の犯罪発生状況と子どもの安全」の話があり、つづいて、日本腹話術師協会のいいむろまなみさんの楽しい講話がありました。「スマイル大作戦」と題し、得意の腹話術の後に、笑顔とあいさつこそ、人との関わりをつなぐものであり、ひいては、子どもを守る大切なもの…との話でした。

そして、目に想いを込め、顔の筋肉をフル活用した笑顔で「おはよう」「おかえり」等のあいさつが、実は長生きのコツでもある…と教えていただきました。

さあ、明日から、思いっきりの笑顔と大きな声で、地域の目立つ存在として、恥ずかしがらずにがんばってまいりましょう。

JSが階段避難器具を寄贈

本年三月、日本総合住生活株式会社（JS）からゆりの木北自治会に階段避難器具（イーバックチェア）が贈られることになり、三月二十八日（水）、自治会事務所前で引渡式が行われました。これは、JSが団地コミュニティ活動支援の一環として、自治会が行うイベント用の備品（テント、紅白幕、白、杵など）を寄贈するという事業です。

ゆり北では、昨年十月のゆり北防災訓練で使用した階段避難器具をぜひ購入したいと考えていたので、「イベント用備品」という基準からは外れるかとも思いましたが要望を出したところ、幸いにも認められたものです。ここでも、当自治会の日ごろの活動実績が評価されました。会員の皆様のご理解、ご協力に改めて感謝いたします。

赤塚新町小の学校公開

十四号棟 片山幹生

娘がこの四月に赤塚新町小学校に入学しました。入学式のほぼ一週間後の四月十七日（火）に今年度最初の「学校公開」がありました。児童の保護者や地域住民に学校を開放して、授業の様子などを自由に見学してもらうという行事です。板橋区では学校選択制を取っていて、入学前に学校を見学する機会を設け、入学先選択の判断材料にしてもらうという意図もあるようです。

私が小学校の授業を参観するのは今回がはじめてでした。入学したばかりでまだ緊張感が感じられる一年生を、上級生や先生方などがきめ細かくフォローするやり方がうまく機能していて、ごんまりとした学校ならではのアットホームな雰囲気を感じることができました。お昼が

引渡式には塩原自治会会長をはじめ十名ほどが参加、説明を聞いた後、早速、塩原さんが試乗してみました（写真）。平地から階段に入るときにはそばで見ているだけでどきどきしましたが、防災訓練で操作を経験済みの十三号棟の梨本さんは「大丈夫ですよ」と余裕の表情でした。慣れれば介助者一人で操作できるそうですが、やはり二人いたほうが安心です。今年のゆり北防災訓練では、皆さんにもぜひ体験していただきたいと考えています。



近づくにつれ緊張感が途切れた子供もいなくはありませんでしたが、学校に入ったばかりの一年生がおおむね行儀よく授業を聞いていたのには「なかなかやるもんだねえ」とちよつと感心してしまいました。

授業や休み時間の様子を第三者に観察されるというのは、子供たちや先生方にとって大きなストレスにな

学校開放指導員募集中 — 赤塚新町小学校 —

板橋区は、平日（火水木）と土・日・祝日の午後、子どもたちの遊び場として小学校の校庭を開放しており、学校開放指導員が遊び場の管理、運営を行っています。赤塚新町小では、今月で土、日、祝日の指導員が辞任することになり、下記のとおり後任を探しています。関心がある方は学校にお問い合わせください。

記			
利用対象	小・中学生と保護者付き添いの幼児		
開放日時	土・日・祝日		
	3月～10月	13時～17時	
	11月～2月	13時～16時	
指導員の年齢	65歳未満（定年は75歳）		
謝礼金	お問い合わせください		
問合せ先	赤塚新町小学校	副校長	小野
	☎3977-7811		

るとは思いますが、児童の保護者のみならず、地域の方々に広く学校を公開し、学校生活についての広報を行うのは意義深いことだと思います。なお赤塚新町小学校のホームページで、学校の紹介や、毎月発行される「学校だより」を見ることができ

五月七日、南花壇二箇所にポリポットに入った松葉ボタンの苗七十鉢を植えました。

花の知識がない私は、次の植え替えの連絡で松葉ボタンと聞いて、一瞬、山に生えている松の葉を想像してしまいました。そして植え替え当日、松葉ボタンを見て、名前をつけた人はどうしてこんな可愛い可憐な花に松葉なんてつけたのかと不思議な気持ちになりました。葉牡丹のあとに二週間ほど休耕期間を置き、松葉ボタンを植えたときは、綺麗な色彩に心が洗われる思いでした。

フラワーボランティア

花壇だより



とに三十センチずつも成長し、八月十二日には皆さんに公開できるまでになりました。おかげで快適な夏を過ごすことが出来ました。

「緑のカーテン」は、植物が土から水分を吸い上げて葉から発散させる蒸散作用によって、周囲の温度を五度位下げる効果があるそうです。ハイキングに行ったとき、道路から木の茂った山道に入ると涼しいと感じる、まさにその涼しさが体験出来るのです。

今年の夏はエアコンを使わない自然の涼しさを体験してみたいと思う方、挑戦してみませんか。今年は是非とされている方、迷っている方も含め、準備していただく用具がありますのでご連絡ください。

連絡先 十・九〇六 平野
☎〇九〇・一四〇二・二六〇五



冬の間、細かな作業は運営委員で片付けていましたが、気持ちの良い季節を迎えてフラワーボランティアの活動再開です。パンジー、ビオラ、ノースポール、そして松葉ボタンの花がら摘みに、皆さんの手が必要になっていきます。特に松葉ボタンは花がらを摘まないと、順番待ちしている蕾が綺麗に咲いてくれません。花壇の花を楽しみながら、花がら摘みにご協力をお願いします。

松葉ボタンを植えて間もなく、二株ほどが根こそぎ持ち去られました。皆さんからの貴重な資金で購入したものです。持ち去りはやめて下さい。

（花を咲かせたい 平野行雄）